



こさかだより

立憲民主・無所属 千葉市議会議員団 小坂 さとみ
《令和7年第2回定例会報告書 2025年秋号》

Vol.14

私たちの希望



食料安全保障と持続可能な農業 安定価格・安定供給

不安定供給
価格高騰



昨今、世界的に食料不足が危惧されております。
食は命を繋ぐものであり、日々の暮らしに直結するものです。私たち市民の希望は、
日常使用する農産物を安定的に得られることです。これらを実現するために、千葉市に
おける食料安全保障と食を生産する農業の持続可能への両取組について確認しました。

Q

小坂の質問

農家が安定生産できる体制への支援は？

A

千葉市の回答

✓ 土壌診断：作物に適した土壌づくりと適切な肥料のアドバイス

➡ 効果：収量増加・肥料コスト低減

✓ 巡回による適切な農業指導：害虫対応など

✓ 優良種苗の提供：安定生産の促進



★ 農産物育成が不安定な要因とは？

気候変動

不作

枯れる

Q

小坂の質問

自然環境と気候は、農産物の生育や収量、品質に大きく影響を与え、生活農産物の安定供給と密接に連動します。千葉市における環境保全型農業の進捗状況は？

A

千葉市の回答

国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ環境負荷軽減に配慮し持続可能な農業の実現のため、健全な土づくりを基本とした環境保全型農業を推進しています。

具体的には・・・ ➡ 緑肥を肥料活用するための経費助成
➡ 有機農業勉強会

★ 薬剤使用による地域への影響は？

市内地下水の一部で、農業で使用する窒素肥料が原因のひとつとされる**硝酸性窒素**の基準値超過が確認されています。硝酸性窒素は人体への悪影響、また、生態系へダメージを与え作物収量の減少が懸念されます。尚、基準超過した井戸の使用水を飲料に使用している方には浄水器設置助成を実施しています。

有機農産物を食べて支える意味とは？

地域が自然と共生する農業を、食べて応援することで環境保護活動の一助となる

★ オーガニック給食の推進は、市民からも要望があります。

有機農産物の価格面、安定供給面で課題がありますが、出来る限りの導入推進に努めます。
現在は、市内小学校1校で、有機コマツナを導入しています。また、生産者を講師に派遣し地産地消の取組の大切さを子ども達に伝えています。

出来る限り食材導入を！





主食である「米」は私達の命に大きく関わる

騒動で分かったこと

食の安全供給は当たり前
のことではないかも？

米騒動は、食料が安定的に手に入ることの尊さを痛感させられ、改めて、持続可能な農業のあり方を考えるきっかけにもなりました。米が、主食であったことも大きかったと思います。

米の生産確保は、引き続き、重要ですが、現代に生きる私たちの主食が麦製品に変化しており、しかも、知らぬ間に多くのシーンで麦にお世話になっていることを念頭にした取組も必要です。

★ 日本人の食生活の変化で「麦」にも注目！！

麦を使った食品の例



年間消費量	米：51kg	麦：31kg
自給率	米：100%	麦：17%

麦の需要：パン・麺類（うどん・ラーメン）・ケーキ・たこ焼き

見えていない需要：ビールや醤油の原料・カレーなどのソース類・スナック菓子

★ 小坂さとみは、麦と大豆を2毛作栽培しています。



千葉市内で、麦栽培の推進を！麦は汎用性が高い農産物

かつて麦は、日本の気候に合わないと言われていましたが、皮肉にも気候変動で最近では国内で作れる環境となっています。麦は儲からないと生産を懸念しがちですが、米の労力の約7分の1で栽培できます。



麦を基軸とした“地域循環型バリューチェーンの推進”

農業生産者と地域産業の連携により消費後の残渣を農に戻す循環構想



単に作るだけでなく地域循環によりバリューを高める＆「千」のブランド化に！

千（せん）は、千葉市の事業者によって創られる「食」のブランドです。



＜市政に関するご意見をお寄せください＞

☎ 090-8534-8723

✉ sk.kosaka@gmail.com

🌐 <http://www.kosakasatomi.com>

【事務所】

千葉市稲毛区柏台1-4-603

